

1 磐田市の人口変化に対する考え方

(1) 「磐田市人口ビジョン」について

人口ビジョンに対する市長としての率直な思いを伺う。

「ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤」についての見解を伺う。

本市の考える人口対策への推進組織体制を伺う。また、近隣市町との連携についても伺う。

人口ビジョンに対する若手職員の反応を伺う。また今後、若手職員をどのように育成していくべきか、見解を伺う。

人口ビジョンに対する市民の反応と、それに対する見解を伺う。

人口ビジョンだけでなく、将来の見通しを市内の若者、特に平成生まれの若者たちに伝える方法や、共に考え行動してもらうための取り組みを伺う。また、ヤング草莽塾の経験者、成人式の実行委員等に、継続して地域に関わってもらうことに対する見解や、「(仮称)地域若者会議」の実施についての見解を伺う。

(2) 次代を生きていく子どもたちへの教育について

「人口ビジョン」を受け、改めて子どもたちにはどんな若者に成長してもらうことを期待するか伺う。

教職員に対して、「人口ビジョン」をどのように伝え、現場で活かしてもらうか考えを伺う。

義務教育後も成長の過程を追いかけていくサポート体制についての見解を伺う。

磐田の教育で成長した若者たちに、教育の効果や成果の評価、さらには教育へのアドバイスをしてもらえる仕組みは作れないものか伺う。

2 情報化社会への対応

- (1) 情報化社会に対応していくにあたり、本市が取り組んできたことの現状と課題、今後の取り組みを伺う。
- (2) 情報化計画改定に関して、策定方法やスケジュール、課題や現在考えている内容を伺う。
- (3) オープンデータに対する現状と課題、今後の展開を伺う。
- (4) 本市のさまざまな内部システムや市民サービスをICT化していくためには、専門的な知識を要すると考えるが、アドバイザー契約や専門職員の育成など、高度ICT人材についての考えや組織体制についての考えを伺う。
- (5) 新産業創出の観点からの、ICT関連企業の進出や起業に対する見解を伺う。
- (6) 地域経済分析システム「リーサス」の活用について成果と課題、今後の展開を伺う。
- (7) データを解析や分析する職員の育成や、データ分析官の活用について、考えを伺う。